

「しょうぶよもぎのばっちゃばちゃ」

～ 旧暦五月五日端午の節句 しょうぶよもぎ～



歌の調子に合わせて赤石川の橋上を叩きます

6月4日の夕方、赤石地区で子ども行事「しょうぶよもぎ」が行われました。  
「ごんがごえ（五月五日）のしょうぶよもぎのばっちゃばちゃ、鬼のまなくつぶえれ」の歌の調子に合わせて、菖蒲と蓬を稲わらに包んだ縄で赤石川の橋上を叩きます。その縄で5メートルくらいの大蛇を作り、それを渦巻きにして子どもを乗せて、「どんつきどん、どんつきどん」のかけ声とともに大人4人で胴上げをします。

子どもたちの身体堅固、無病息災を祈るため、古くから伝わる赤石地区の行事です。

地域の交流・憩いの場として

～ 水芭蕉公園で花植え作業～

6月5日、旧釜ヶ台小中学校前の水芭蕉公園の花植え作業が釜ヶ台、冬師、下坂、上坂集落の皆さんの協力により行われました。毎年恒例となっている花植え作業も今年で18年目になります。地域の皆さんにより、サルビア、ビクトリア、マリーゴールド、ベコニア、メランポジウムなどの花の苗が手際良く植えられ、作業は、2時間程で終了しました。

ツツジが満開となった校庭周辺やいろとりどりの花でいっぱいとなった水芭蕉公園は、地域の皆さんの憩いの場となっています。



慣れた手つきで、作業が進められました

暑い夏がはじまります！！

～ 市内の学校でプール清掃～



待ちわびたプールの季節。清掃も楽しそうです

6月中旬から、市内の各学校ではプール清掃が行われました。

昨年の秋からたまった汚れを、デッキブラシやタワシでゴシゴシ擦りました。汚れが顔や服についてもお構いなしです。一足早く全身水浸しになった児童もいます。一生懸命清掃したプールは、見違えてとてもきれいになりました。

これから暑い夏が始まります。きれいになったプールでは、児童たちの元気いっぱいの泳ぎと、弾ける笑顔を見ることができそうです。



高齢の部優勝者、佐藤さん



大賞の部優勝者、武田さん

おらがの里で唄い継がれる

～ 第15回秋田草刈唄全国大会 in にかほ～

6月19日、仁賀保勤労青少年ホームを会場に、「第15回秋田草刈唄全国大会 in にかほ」が開催されました。同大会は、秋田草刈唄の正しい伝承と普及を目指し、平成8年より毎年開催されています。

今年も全国各地から、民謡を愛する134名が参加し、大賞・年少・高齢の部で、日ごろ鍛えたのどを披露し「日本一」を競いました。

大賞の部は、武田幸之助さん（井川町）、年少の部は、立石静玖さん（大館市）、そして高齢の部では地元の佐藤良雄さん（中野）が見事優勝し、日本一に輝きました。

認知症への理解を深める

～ 認知症フォーラム～

6月13日、象潟公民館を会場に「認知症フォーラム」が開催されました。

秋田弁まるだしの寸劇に続いて、浦上克哉氏（鳥取大学教授）が「認知症の最新情報」をテーマに、早期発見や治療・予防法について講演を行い「65歳以上の10人に1人が認知症。症状が出てからでは治療も困難なため、予防と検診が大切」と指摘しました。

認知症を早期に発見できるタッチパネルの展示や、新薬の紹介もあり、最新の情報も盛りだくさんで、理解を深めることができましたようです。



寸劇「なんとへばえなだ」手形訪問看護ステーションの皆さん

特色ある地域づくりを目指し

～ にかほグリーン・ツーリズム推進協議会設立総会～



会長に選出後、あいさつする齋藤会長

6月18日、象潟庁舎大会議室において、関係者など約40名が参加し、「にかほグリーン・ツーリズム推進協議会」の設立総会が開催されました。

同協議会は、にかほ市の自然、文化、人々の都市との交流を促進して、地域の活性化を図るとともに、地元農林水産物の消費拡大を推進して、農村漁村地域の活性化に資することを目的として設立されたものです。

設立総会では規約制定後、役員を選任が行われ、会長に横岡自治会会長の齋藤俊之氏が選出され、受け入れ体制の整備などを柱とする推進計画などを制定しました。